

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エノモト
コード番号 6928 URL <http://www.enomoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 宏行

TEL 0554-62-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,251	1.8	△27	—	△63	—	△108	—
24年3月期第1四半期	4,176	△12.7	43	△86.1	40	△86.1	28	△89.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 93百万円 (△22.8%) 24年3月期第1四半期 121百万円 (△60.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△7.06	—
24年3月期第1四半期	1.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	18,921	10,166	53.7	663.23
24年3月期	18,351	10,103	55.1	659.12

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 10,166百万円 24年3月期 10,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	19,000	8.4	500	372.7	430	209.2	300	355.8	19.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当企業グループの主な需要先である半導体・電子部品業界におきましては、市場動向が大きく変動する傾向があり、合理的な算定を元にして半期毎の業績予想を出すことは困難なことから、第2四半期の連結業績予想の開示は行っておりません。その為、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、業績の進捗状況について速やかにその開示を行って参ります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,348,407 株	24年3月期	15,348,407 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	19,142 株	24年3月期	19,050 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	15,329,327 株	24年3月期1Q	15,329,510 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ、緩やかに持ち直しつつあるものの、長期化する円高や原油高等の影響、また電力供給制限による生産活動への影響など、依然として厳しい状況が続いております。

第2四半期以降、国内の各種政策効果等を背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待される一方、欧州の政府債務危機による景気の下振れリスク等の顕在化、また、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念も依然として存在しております。

当社グループの主な需要先であります半導体・電子部品業界におきましては、テレビやパソコン市場の成長が鈍化してはいるものの、新興国の新規需要や先進国の買い替え需要は堅調に推移しております。

不安定な経営環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら、積極的な営業展開を行うとともに、顧客のニーズに応えるべく生産性並びに品質の向上に注力して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は42億5千1百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。また、営業損失は2千7百万円（前年同四半期は営業利益4千3百万円）、経常損失は6千3百万円（前年同四半期は経常利益4千万円）、四半期純損失は1億8百万円（前年同四半期は四半期純利益2千8百万円）となりました。

製品群別の業績は、次のとおりであります。

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、車載向け、民生機器向けが主なものであります。車載用デバイス向けの受注が安定的に受注量を確保している一方で、市場鈍化の影響から、総じて民生機器向けの電子部品の需要が低迷しております。その結果、当製品群の売上高は11億7千5百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、車載、照明及びディスプレイ向けLED用リードフレームが主なものであります。民生を中心とした市場の低迷によるLEDの供給過剰状態が続いていることから、主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが強まりました。その結果、当製品群の売上高は10億6百万円（同20.4%減）となりました。

③ コネクタ用部品

当製品群は、携帯電話・スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。スマートフォンやタブレット型端末等のアイテムを中心に新興国の新規需要や先進国の買い替え需要が堅調に推移していることから、マイクロピッチコネクタ用部品の受注が増加傾向にあります。その結果、当製品群の売上高は18億2千3百万円（同35.2%増）となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は2億4千6百万円（同18.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ5億7千万円増加し、189億2千1百万円となりました。流動資産は、売上債権及びたな卸資産が増加し前期に比べ1億4千7百万円増加の71億8百万円となり、固定資産は設備投資の増加により前期に比べ4億2千2百万円増加の118億1千3百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ5億7百万円増加し、87億5千4百万円となりました。これは仕入債務及び設備投資に係る未払金が増加したものであります。

また、純資産は為替換算調整勘定の増加により101億6千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は、53.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績において若干の出遅れはありましたが、通期の業績予想に関しましては平成24年5月11日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,349,316	1,298,168
受取手形及び売掛金	3,166,112	3,264,040
商品及び製品	546,025	535,866
仕掛品	919,349	1,001,726
原材料及び貯蔵品	720,328	778,148
繰延税金資産	136,993	119,769
未収入金	89,422	71,157
その他	35,122	41,523
貸倒引当金	△1,880	△1,722
流動資産合計	6,960,789	7,108,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,317,109	9,406,337
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,142,764	△6,203,336
建物及び構築物（純額）	3,174,344	3,203,001
機械装置及び運搬具	11,412,392	11,735,811
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,490,326	△8,585,033
機械装置及び運搬具（純額）	2,922,066	3,150,777
工具、器具及び備品	4,153,409	4,217,359
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,816,032	△3,847,874
工具、器具及び備品（純額）	337,377	369,484
土地	3,507,451	3,507,451
建設仮勘定	159,458	212,575
有形固定資産合計	10,100,698	10,443,291
無形固定資産	147,634	185,219
投資その他の資産		
投資有価証券	453,573	419,428
前払年金費用	192,777	184,687
繰延税金資産	7,781	8,233
その他	526,654	610,612
貸倒引当金	△38,414	△38,414
投資その他の資産合計	1,142,373	1,184,547
固定資産合計	11,390,706	11,813,058
資産合計	18,351,496	18,921,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,746,708	3,858,292
短期借入金	722,180	1,010,520
未払法人税等	37,310	24,787
未払消費税等	10,089	10,403
賞与引当金	293,000	126,000
その他	989,517	1,367,998
流動負債合計	5,798,806	6,398,000
固定負債		
社債	240,000	240,000
長期借入金	862,920	772,800
繰延税金負債	81,238	70,255
退職給付引当金	51,001	55,825
役員退職慰労引当金	695,800	702,074
リース債務	27,594	25,791
再評価に係る繰延税金負債	490,236	490,236
固定負債合計	2,448,790	2,356,983
負債合計	8,247,596	8,754,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149,472	4,149,472
資本剰余金	4,459,862	4,459,862
利益剰余金	2,987,950	2,849,003
自己株式	△8,398	△8,417
株主資本合計	11,588,886	11,449,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,275	△12,432
土地再評価差額金	△246,023	△246,023
為替換算調整勘定	△1,247,238	△1,024,710
その他の包括利益累計額合計	△1,484,986	△1,283,166
純資産合計	10,103,900	10,166,754
負債純資産合計	18,351,496	18,921,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,176,652	4,251,952
売上原価	3,680,250	3,826,645
売上総利益	496,402	425,306
販売費及び一般管理費	452,466	452,642
営業利益又は営業損失(△)	43,935	△27,336
営業外収益		
受取利息	274	246
受取配当金	1,636	1,800
受取賃貸料	15,898	18,041
助成金収入	9,463	—
その他	11,421	2,876
営業外収益合計	38,695	22,965
営業外費用		
支払利息	7,657	7,529
債権売却損	4,817	5,778
租税公課	6,907	8,204
為替差損	15,157	30,533
その他	7,221	7,039
営業外費用合計	41,762	59,086
経常利益又は経常損失(△)	40,868	△63,456
特別利益		
固定資産売却益	1,633	3,739
特別利益合計	1,633	3,739
特別損失		
固定資産売却損	1,415	8,034
固定資産除却損	5,191	8,811
投資有価証券評価損	—	10,470
特別損失合計	6,606	27,316
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	35,895	△87,033
法人税、住民税及び事業税	10,553	10,332
法人税等調整額	△3,597	10,921
法人税等合計	6,956	21,254
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	28,939	△108,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,939	△108,287

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	28,939	△108,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,601	△20,708
為替換算調整勘定	106,842	222,528
その他の包括利益合計	92,240	201,819
四半期包括利益	121,180	93,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,180	93,531
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。